



温かみのある  
スーパースマートホスピタルへ。

2025年7月22日  
病院新本館  
グランド  
オープン

## 病院新本館のグランドオープンにあたり

来る7月22日に本院の新本館がグランドオープンいたします。これにより、2027年に迎える大阪医科大学創立100周年記念事業の大きな柱である病院本館の刷新が完了します。2022年に開院した新本館A棟では救命救急センターが本格的に稼働しており、年間およそ1万人の患者さんを拝診しています。このたび開院する新本館B棟には、周産期センターを含む8つの病棟と臓器別・疾患別のユニット制を敷いた外来が設置されます。また、新設される患者サポートエリアでは、患者さんの入院前、入院中、退院後の様々な手続きや情報提供をワンストップで完了することを目指します。さらに、斬新なデザインと無駄のない配置、カフェテラスや絵画のデジタル展覧など、ご来院いただく皆様に少しでも心身の休まる快適な時間と空間を提供する工夫がなされています。病院の目指すものは安全で高品質の医療サービスです。人と情報とサービスが常に身近にある“温かい病院”を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



病院長  
広域医療連携センター  
センター長  
勝間田 敬弘



# Super Smart Hospital

## 超スマート医療を推進する大学病院 7月22日 ついに始動！！



新しい病院本館は「Super Smart Hospital」をコンセプトに、安全と診療効率、スマート医療の実践を目的とした最新技術を導入しました。また建築コンセプトを「バイオフィリア」とし、自然をとり入れた設計やインテリア、また温もりや癒しを感じる親しみのあるアートにより、心地よい空間を提供します。

スマート医療により医療の質を向上させ、患者さんと医療者との距離を近づけ、患者さんに寄り添う温かい医療を行い、バイオフィリアやアートの力もとり入れ、最良の医療を目指します。

### Topics 1

#### 心地よい空間

患者さんやご家族に心地よい空間で過ごしていただけるようにバイオフィリアの考えを取り入れた建築やインテリアを取り入れています。小児科外来・病棟には森の生き物たちとの出会いをテーマにしたアートやオブジェを配しています。

### Topics 2

#### 患者サポートエリア

患者さんには動いていただくことなく、入院するために必要な手続きをワンストップで完了を目指します。

### Topics 3

#### ユニット制

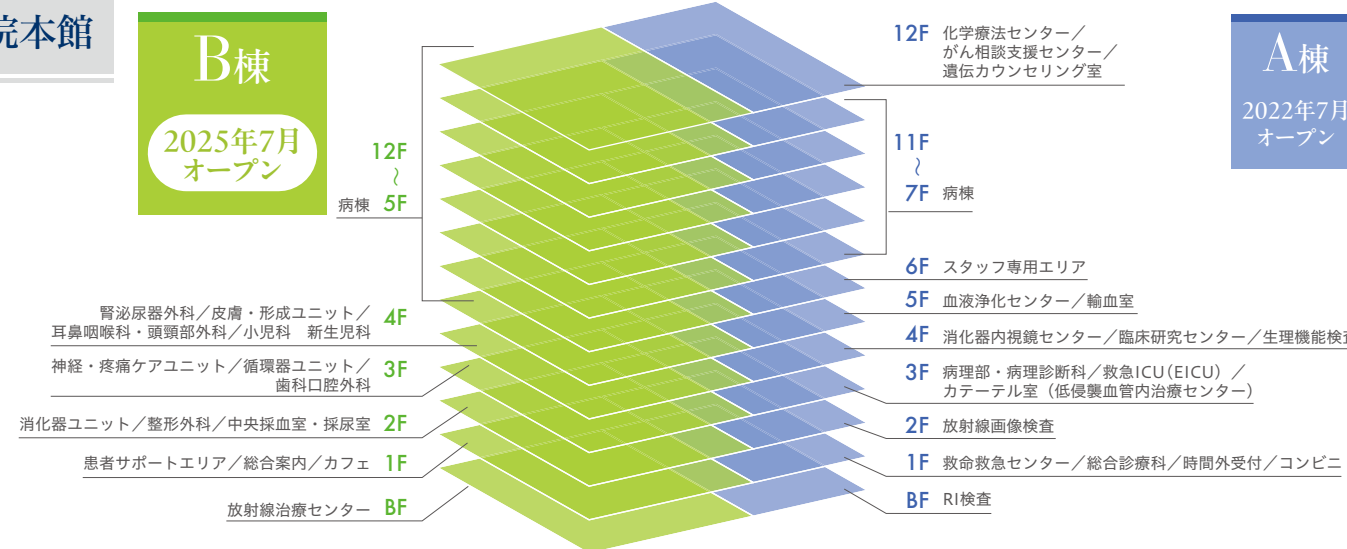
同一臓器を診る内科と外科系診療科を同一フロアに配置するユニット制を導入しています。

### Topics 4

#### 最新の ICT 技術

最新のICT技術を活用した外来患者誘導システム、デジタル・ホスピタル・アート、警備ロボットなどを導入しています。

### 病院本館



## Biophilia × Art

## 心地よい空間

### バイオフィリアの考えを取り入れた建築やインテリア

「心地よい環境の提供」をコンセプトの1つに据えており、自然と触れ合うことで健康や幸せを得られるという“バイオフィリア”の考えを採り入れ、建築や院内のインテリアは癒しや温もりを感じる自然や動物をモチーフにしたデザインにしています。

### 森の生き物たちとの出会いをテーマにした小児科外来・病棟

小児科外来では森の中を遊ぶように動物たちが待合室へと誘い込み、カラフルな色彩のシンボルツリーが優しく包み込みます。小児科病棟では森に暮らす生き物たちに出会い、会話のきっかけとなるような温かい空間を創造します。



## Topics 2



## 患者サポートエリア

患者さんは座ったまま少ない負担で入院手続き入院前面談など入院に必要な手続きをワンストップで完了できるエリアです。患者さんはブースに座ったままで、スタッフが入れ替わることで患者さんの負担をできるだけ軽減します。他に患者相談、かかりつけ医相談など専門スタッフが親身に対応させていただきます。



## 臓器別・疾患別の外来診療 ユニット制

### ワンフロアで完結

外来フロアではユニット制を導入。例えば消化器系の病気なら、従来は別々だった消化器内科と消化器外科を同じフロアで連続的に受診できます。診断、治療からその後の外来診療、アフターケアに至るまですべて同じエリアで対応できます。

- ・消化器ユニット
  - ・皮膚・形成ユニット
  - ・循環器ユニット
  - ・神経・疼痛ケアユニット
- ※全ての診療科がユニット化するものではありません。

## Topics 3



## Topics 4 最新の ICT 技術

### 最新のICT技術を活用した外来患者誘導システムを導入



### デジタルアートミュージアム～大原美術館～

岡山県倉敷市の大原美術館所蔵の作品を大型デジタルサイネージでアバターが案内。名画と対話鑑賞できるアート体験は、国内病院では初めての試みです。

### 夜間の外来エリアは警備ロボットが見回ります

360度撮影可能なカメラと日常と異なる環境変化を自動的に検知することにより、夜間の安全性を確保します。





# 新任科長のご挨拶

## 循環器内科

2025年 4月1日就任

### 科長 森田 英晃(もりた ひであき)



2025年4月1日付で循環器内科の科長に就任しました。高齢化社会に対応した低侵襲血管内治療を推進し、心血管救急体制を構築します。お一人おひとりにとって「Best among the Best」な治療を提供し、信頼される循環器内科を目指してまいります。

**専門分野** 心血管インターベンション治療

**資格** 日本内科学会総合内科専門医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本心血管インターベンション治療学会専門医  
経カテーテル的大動脈弁置換術指導医、難病指定医

**略歴** 1995年 3月 大阪医科大学 医学部医学科 卒業  
1995年 5月 大阪医科大学 内科学Ⅲ教室 入局 研修医  
1997年 6月 大阪赤十字病院心臓血管センター内科  
1999年11月 米国Henry Ford病院心臓血管研究所  
リサーチフェロー  
2003年12月 大阪医科大学医学博士 取得  
2004年10月 大阪医科大学附属病院  
臨床研修専任指導医  
2006年 4月 大阪医科大学 内科学Ⅲ教室 助手(任期付)  
2007年 1月 大阪医科大学 内科学Ⅲ教室 助教  
2012年 4月 大阪医科大学 内科学Ⅲ教室 講師(准)  
2022年 4月 大阪医科薬科大学 内科学Ⅲ教室 講師  
2025年 4月 大阪医科薬科大学 内科学Ⅲ教室 教授

**特技/趣味** 旅行、テニス

## 婦人科・腫瘍科

2025年 4月1日就任

### 科長 田中 智人(たなか ともひと)



当診療科は子宮癌・卵巣癌をはじめとした婦人科悪性腫瘍手術の経験が豊富です。腹腔鏡やロボットなどの最新設備を使用し、出来るだけ侵襲の低い術式で根治を目指します。

**専門分野** 婦人科悪性腫瘍

**資格** 日本産科婦人科学会専門医・指導医  
日本婦人科腫瘍学会腫瘍専門医・指導医  
日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医  
日本周産期・新生児学会周産期専門医  
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医  
日本内視鏡外科学会技術認定医  
日本婦人科ロボット手術学会プロクター  
日本ロボット外科学会専門医(国際B)

**略歴** 2003年 3月 大阪医科大学卒業  
2003年 4月 大阪医科大学 産婦人科学教室 研修医  
2004年10月 高槻赤十字病院 産婦人科 医員  
2005年 5月 大阪医科大学 産婦人科 研修医  
2006年 1月 神戸救済会病院 産婦人科 医員  
2009年 3月 大阪南医療センター 産婦人科 医員  
2012年 4月 大阪医科大学大学院博士課程 入学  
2016年 3月 大阪医科大学大学院博士課程 学位取得  
2016年 4月 大阪医科大学 産婦人科学教室 助教  
2016年10月 大阪医科大学 産婦人科学教室 講師  
2025年 4月 大阪医科薬科大学 産婦人科学教室 教授

**特技/趣味** 釣り、音楽

## 麻酔科・ペインクリニック

2025年 4月1日就任

### 科長 間嶋 望(まじま のぞみ)



年間約7200例の麻酔科管理症例において安全な麻酔管理とさらに質の高い周術期管理を目指します。ペインクリニック外来ではこどもや成人の慢性痛、難治性がん性疼痛など様々な痛みに、QOLの向上を目標に適切な治療を実践します。

**専門分野** 麻酔科学、ペインクリニック、小児麻酔

**資格** 日本麻酔科学会指導医  
日本専門医機構認定麻酔科専門医  
日本ペインクリニック学会専門医  
日本小児麻酔学会認定医  
日本区域麻酔学会認定医

**略歴** 2004年 3月 大阪医科大学卒業  
2004年 4月 大阪医科大学附属病院にて臨床研修開始  
2006年 4月 大阪医科大学 レジデント(麻酔科)  
2007年 4月 康生会 武田病院 医員(麻酔科)  
2008年 4月 兵庫県立こども病院 専攻医(麻酔科)  
2009年 4月 大阪医科大学 麻酔科学教室 助教(准)  
2010年 4月 大阪府三島救命救急センター 医員(麻酔科)  
2011年 4月 大阪医科大学 麻酔科学教室 助教(准)  
2012年 4月 市立枚方市民病院 医長(麻酔科)  
2013年 4月 大阪医科大学 麻酔科学教室 助教  
2020年 3月 大阪医科大学 麻酔科学教室 講師

**特技/趣味** 茶道

## 形成外科

2025年 4月1日就任

### 科長 塗 隆志(ぬり たかし)



4月1日付で形成外科科長に就任いたしました。これまで、さまざまな診療科の再建手術に携わってまいりました。“断らない再建外科”をモットーとしておりますので、対応にお困りの症例がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

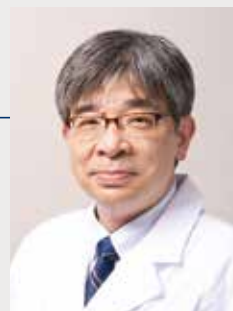
**専門分野** 顎顔面外科、マイクロサージャリー

**資格** 日本形成外科学会専門医  
日本頭蓋顎顔面外科学会専門医  
日本創傷外科学会専門医  
日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医・小児形成外科分野指導医  
再建マイクロサージャリー分野指導医

**略歴** 2003年 3月 大阪医科大学 卒業  
2003年 5月 大阪医科大学 形成外科学教室 入局  
2005年 5月 埼玉医科大学 総合医療センター病院 助手  
2006年 6月 大阪医科大学 形成外科学教室 助手  
2008年 6月 東京医科歯科大学 分子発生学分野 研究員  
2012年 4月 大阪医科大学 形成外科学教室 助教  
2016年 1月 台湾:Chang Gung Memorial Hospital, 研究員  
2016年 4月 大阪医科大学 形成外科学教室 講師  
2018年 4月 大阪医科大学 形成外科学教室 診療准教授  
2020年 4月 大阪医科大学 形成外科学教室 准教授  
2025年 4月 大阪医科薬科大学 形成外科学教室 教授

**特技/趣味** スキー、ドライブ

# 医療連携室ならびに入退院支援室 室長就任のご挨拶



医療連携室・入退院支援室 室長

萩森 伸一

2025年4月より医療連携室ならびに入退院支援室の室長を拝命いたしました萩森伸一と申します。

本年7月22日、大阪医科薬科大学病院は新本館をグランドオープンいたします。これを機に、本院では最新ICT技術を活用した快適な外来・病棟環境の実現と、地域医療連携の強化に向けた新たな取り組みを進めています。

医療連携室では、これまで以上に診療所や他の病院との連携が円滑に行えるよう、病診連携ツール「やくばと」を活用したWeb経由での初診予約の推進に加え、患者さんの受け入れ要請に即時に対応できる新しい体制を構築してまいります。

新本館1階には、患者さんが安心して入院生活を送れるよう、入院前から退院後を見据えた療養環境を整えるための

「患者サポートエリア」を新設します。このエリアでは、入退院支援室を中心に、「ワンストップ」で休薬の確認、食物・薬物アレルギー歴の確認、手術前の口腔衛生チェックなどを実施し、入院に向けた準備を多職種チームでサポートします。患者さんご家族が安心して治療を受けていただけるよう、より一層温かみのあるサービスを提供してまいります。

大阪医科薬科大学病院は、新本館開院によっていよいよパライムシフトを迎えます。今後も、患者さんをご紹介いただく医療機関の先生方のご要望とご期待にお応えし、患者さんご家族にご満足いただける質の高い医療の提供に努めてまいります。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 医療連携室からのお知らせ Webからの初診予約申込みを随時受付中!!

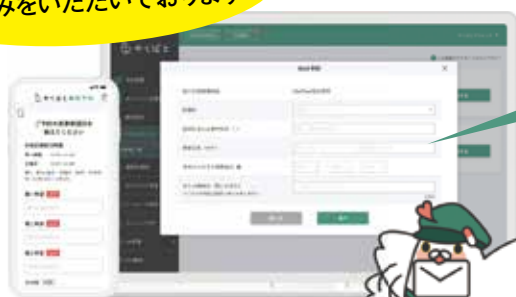
### Web初診予約



### やくばと病診連携

24時間365日稼働のwebによる予約申込みを開始しております。

すでに150医療機関を超える  
お申込みをいただいております



日程調整は患者さんと本院で行います。

医療機関さまは、基本情報を入力して、患者さんに紹介状をお渡しいただいたあと、紹介状を申込日当日中にアップロードいただくだけで、紹介手続きは完了します。

Web初診予約のご利用をご検討ください。

※FAX申込みも今までどおりご利用いただけます。

本システムのご利用には、メディア株式会社が運営する「やくばと病診連携」へのお申込みが必要です。

こちらの二次元バーコードから、  
お申込みフォームへアクセスできます  
<https://media.yakubato.jp/form-03>



メディア株式会社のフォーム

医療連携室のスタッフがご導入いただいた  
医療機関の院長先生と対談し、  
「やくばと」導入の経緯やメリット、  
負担の軽減などについてお話を伺いました。

対談記事はこちらから



## 【医療連携室ご利用のご案内】

### 医療連携室 「FAX紹介申込書」 受付時間

平日/8:30~19:00 土曜日/8:30~12:00

※第2・第4土曜日は休診です。

※FAX受信は24時間可能(休診時も含む)。

但し受付時間以外の受信については翌診療日以降の対応となります。

### 広域医療連携センター 医療連携室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL.072-683-1221 (代表)内線2308

TEL.072-684-6338 (医療連携室直通)



送信先

FAX 072-684-6339

本院専用のFAX紹介申込書及び封筒をご用意しております。  
ご利用の場合は、電話またはFAXにてご請求ください